

(様式)

令和7年度 高校生防災アクション計画・報告書		学校名	岐阜県立武義高等学校		
1・目標					
災害の現状を知り、地域社会の一員としての自覚をもって災害を身近なものとして捉える。高校生の立場で地域の災害への対応力を高め、「減災」「防災」に努める意識を育てる。					
2・異なる危険を想定した年間3回以上の命を守る訓練 ※行が不足する場合は追加をすること。					
回	年月日	想定する危険	実施内容	参加人数	
1	計画	令和7年6月16日	地震・火災	全校一斉による避難行動の実施	生徒・職員 558名 その他 () 名
	実施	令和7年6月16日	地震・火災	全校一斉による避難行動の実施	生徒・職員 558名 その他 () 名
2	計画	令和7年10月1日	大雨・雪害	ワークシートによる机上訓練	生徒・職員 518名 その他 () 名
	実施	令和7年10月1日	地震・火災	予告なしのシェイクアウト訓練	生徒・職員 558名 その他 () 名
3	計画	令和8年1月16日	避難所生活	ワークシートによる机上訓練	生徒・職員 518名 その他 () 名
	実施	令和8年1月16日	大雪・雪害	ワークシートによる机上訓練	生徒・職員 444名 その他 () 名
3・防災に関する主な取組の計画 ※防災教育に関する講話・授業・行事等の実施月と内容について簡潔に記入してください。					
(1) 地理総合(2年生): 2月に自然災害を防災の単元で、地域防災について考える。 (2) 地理探究(3年生理数科): 6月に日本の自然環境の単元で防災・減災について取り扱う。 (3) 減災力テスト(全学年): 6月に1回目を実施、12月に2回目を実施する。 (4) 応急処置講習会(代表生徒): 救急時の救命についての講習会を実施する。 (5) 防災フェスタ in 武義高校(3年生ビジネス情報科): 秋ごろ(予定)					
4・防災に関する主な取組の報告 ※誰が、誰と、何をしたかを具体的に記入してください。					
(1)地理探究(3年生理数科) まず、4月に地球規模の地形や地殻変動についての内容を取り扱い、地震や火山災害についての基礎知識を身に付ける授業を行った。その上で、6月に日本で発生する地震や火山災害についてより詳しく学習を行った。その中で、グループワークの時間を設け、地震が起きた時にどう行動すればよいかを生徒自身が確認できるような内容とした。 (2)命を守る訓練 年間3回の命を守る訓練を実施した。本校では、生徒は4月に1年間使用するHR教室の場所が変わるので、6月の訓練では、事前に避難経路等の情報を提供し、十分な周知をした上で新HR教室からの避難行動と防災組織の役割を確認する内容とした。10月の訓練では予定を変更し、6月の訓練の復習として予告なしのシェイクアウト訓練を実施した。避難の様子を防火管理者(教頭)がよく観察して、講評を行った。4月、6月の訓練は消防署の職員から事前に指導を受けた上で行った。1月の訓練は、大雪・雪害に対する机上訓練を行った。訓練実施日の数日前に生徒の居住地域で大雪が降ったこともあり、実感をもって取り組める内容となった。 (3)応急処置講習会 緊急時に必ずしも教員が発生場所付近にいるとは限らないことを鑑み、養護教諭が講師となって、各部の代表生徒に対して、AEDの使い方等の講習会を行うことで、緊急時にリーダーとなる生徒の養成に努めた。 (4)危機管理マニュアルの全面改訂 7・8月に校長、防火責任者、防災担当が中心となり危機管理マニュアルの全面改訂を行った。 (5)指定避難所(福祉避難所を含む)等の運営支援計画の作成 防火責任者が美濃市の防災担当者と同面談等を重ね、指定避難所(福祉避難所を含む)等の運営支援計画を作成した。					
連携した組織など	<input type="checkbox"/> PTA <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 大学・専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 市役所・町村役場 <input checked="" type="checkbox"/> 消防署 <input type="checkbox"/> 病院等医療機関 <input type="checkbox"/> 警察署 <input type="checkbox"/> 气象台・気象庁 <input type="checkbox"/> 防災・減災センター <input type="checkbox"/> 防災士会 <input type="checkbox"/> 企業・NPO法人() <input type="checkbox"/> その他()				
減災力テスト	回	平均点	実施学年	備考	
	1	54.4点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input checked="" type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生		
	2	64.8点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input checked="" type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生		
成果と課題	【成果】減災力テストの平均点から、生徒の防災意識の向上が読み取れる。今年度の命を守る訓練で取り上げた内容に関わるQ4・9・10は顕著に点数の改善がみられたことや、「命を守る情報収集や判断」「命を守る近所づきあい」はすべての項目の点数が上がったこと、2回目のテストでは、100点をつける生徒が複数名みられたことは成果を得られたと言えると思う。危機管理マニュアルの見直し、指定避難所(福祉避難所を含む)等の運営支援計画の作成は、闇雲に訓練を行うことをなくす、現状を見直すという点で進歩であり、今後の防災の取り組みをより意味のあるものにしていくと考えられる。 【課題】減災力テストのQ13・15にある水害は昨年度の訓練には盛り込んだが、今年度は盛り込まなかった。この項目について、昨年度の訓練に参加した2・3年生の生徒は高い点数をつけているが、1年生では低かった。このことを踏まえ、全校一斉の取り組みも必要だが、学年ごと、年度ごとなど3年間を通して様々な面で防災意識を高められるような体系的な取り組みを考えていくことを検討したい。				

※網掛けの項目については、報告の際に記入をしてください。計画書・報告書のページ数に制限は設けません。行が不足する場合は、適宜追加してください。図、写真の貼付や報告書に加えて資料等を添付していただいても構いません。その場合は個人情報・肖像権等に配慮願います。